

令和元年度

第4回目黒区総合教育会議

会議録

(令和2年3月24日開催)

令和元年度第4回目黒区総合教育会議会議録

1 開催年月日 令和2年3月24日

2 開催場所 総合庁舎6階教育委員会室

3 出席委員 目黒区長 青木英二
教育委員会教育長 関根義孝
教育委員会教育長職務代行者 櫻井道雄
教育委員会委員 後藤幸子
教育委員会委員 笹尾敦夫
教育委員会委員 松村眞理子

4 出席説明者 企画経営部長 荒牧広志
総務部長 本橋信也
危機管理室長 谷合祐之
文化・スポーツ部長 竹内聡子
子育て支援部長 長崎隆彦
教育次長 秋丸俊彦
政策企画課長 田中健二
広報課長 酒井圭子
教育政策課長（学校統合推進課長兼務） 山野井司
学校ICT課長 今村茂範
学校運営課長 濱下正樹
学校施設計画課長 鹿戸健太
教育指導課長 竹花仁志
統括指導主事 寺尾千英
統括指導主事 片山順也
教育支援課長 酒井宏
生涯学習課長 千葉富美子

4 傍聴者 なし

5 議題

(1) 協議事項

・新型コロナウイルス感染症への対応

(2) その他

6 会議の結果及び主要な発言

別紙のとおり。

(午前9時27分開会)

○区長

おはようございます。

ただいまから、令和元年度第4回の総合教育会議を開催させていただきます。

10時から教育委員会ということですので、大変慌ただしい中、御参集いただいたことにお礼を申し上げます。

本日は、3月3日の第3回に続いて招集をさせていただきました。前回は、国から、一斉休校の要請があり、それに向けた対応をさせていただき、ご意見を頂いたということでございます。

今日の会議の趣旨ですけれども、今月19日に政府の新型コロナウイルス感染症対策専門家会議から、この感染拡大を最小限に抑制するために、引き続き、今の方針を続けていくことが必要であるという見解が出されております。

また、昨今の東京都内の感染者数も踏まえて、私どもの今後の対応についての取りまとめを、昨日させていただいたところでございます。

今、目黒区は、私を本部長とする新型コロナウイルス感染症対策本部を設置して、今日まで、24時間の電話等の相談も受けております。学校については、一斉休校でありますけれども、子どもさんたちの居場所づくりということで、校庭で時間をシェアリングしながら居場所をつくっていたり、図書館も、開館しております。

それから、学童保育クラブは、開いて運営しておりますし、学童保育クラブの保育料の免除も行っております。緊急融資は、目黒区は、上限1,000万円で5年間無利子ということで、23区では、最も手厚いということで、相談も追いつかないということで、土曜日には、担当部が臨時に対応することになっています。

いずれにしても、本部長として、最も重要なのは、お子さん、保護者の方々も含めて、区民の皆さんの安全をしっかりと守っていくということと思っております。

教育委員会におかれましても、お子さんを中心に、しっかりとした対応を取っていただいておりますけれども、引き続き、私ども区長部局と連携していただいて、一段のご協力をお願い申し上げます。

それでは、議題に入りたいと思いますが、昨日の第8回新型コ

コロナウイルス感染症対策本部で決定した内容を、順次、所管部長からご報告をさせていただいて、またご意見を頂いて、内容をブラッシュアップしていきたいと思っておりますので、どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

それでは、順次、お願いいたします。

○説明者

(資料により説明)

○区長

ありがとうございました。

それでは、今、説明させていただきましたものに、一括ご質疑、ご意見、ご要望等、頂ければと思います。

○委員

今、おそらく、いろいろなところで混乱が起こっている状態だと思うのですがけれども、いわゆる、都知事が都市閉鎖ということを出してきたり、もう一方では学校閉鎖を解除すると。「これ、矛盾しているのではないか。」というようなことが、言われています。

積極的の学校閉鎖というのは、感染拡大期には、前にお話ししたように効果はある。ただし、蔓延期に入ると、効果が疑問視されているというのが現状です。

ですから、今、日本もしくは東京の感染拡大期なのか蔓延期なのか、その評価によって、学校閉鎖の評価が変わってくるというのが現実だと思います。

今、どんな状態になっているのかというと、いわゆる、2週間の瀬戸際対策が済んだ後でも感染者が増えている。しかも、その感染者の経路が追えなくなっている。

ということで、おそらく、感染拡大期から、もう蔓延期直前の状態になっているのだと思います。だからこそ、いわゆる、医療機関の整備が始まってきている。

ヨーロッパのほうではもう既に蔓延期に入っている。特に、イタリアを中心としたヨーロッパで、非常な勢いで蔓延期に入っていて、日本は、比較的頑張っていると感じています。

注目するのは、実はイタリアの死亡率が非常に高いことです。

これが何でか。ただ、疫学的な調査が、今きちんと行われていない状況なので、それをどう判断していいかというのは、非常に疑問なのですけれども、ただ、非常に死亡率が高い。

なぜ死亡率が高いかというと、イタリアは日本に次いで高齢化率が非常に高いです。高齢者が非常に多いために、死亡率が非常に高いと言われているのです。

疫学的調査のもとでやられてないので、本当かどうか分からないですけれども、もしそうだとすると、日本でこれから蔓延期に入ったときに、一番の問題は、日本は高齢化が世界で一番ですし、それから高齢者が施設に集中しているので、おそらく相当な死亡率が出てくるだろうというのが、予想されるわけです。

そうすると、その中で、いわゆる、高齢者医療の立場から言うと、学校閉鎖というのは、もう少ししたほうがいいという気持ちはあります。ただし、逆に今度、子ども、いわゆる、教育という立場から考えたときに、実は子どもはリスクが非常に少ないのです。

それから、もうすぐ蔓延期に入ってきたときに、学校閉鎖の意義がどのくらいあるかというのと、一つは、今、その閉鎖の期間が長くなったために、社会的にいろいろな課題が出てきているということで、おそらく、そんな中で、学校の閉鎖の解除というのは、もう時間の問題で致し方ないという感じがしています。

そのときに、何を条件としなくてはいけないのかというと、私は、やはり換気と、距離をとること、手洗い、それから、検温とマスクかと思います。

それから、もう一つ注意しなくてはいけないのは、高齢者の接触をどうするか。この辺の教育というか、この辺のことを考えて、もし、閉鎖解除するのだったら、その方向でいけばいいと思っています。

それから、何でこれだけ恐ろしがられているかというと、治療法がないということに対するの恐れです。先週に医療者宛ての新型コロナウイルスの対策診療指針というのが出て、その中では、いわゆる、治療薬がそれほどない。だけれども、アビガンについては、イン・ビトロ（試験管内）では効果が出ているとあります。それから、もう一つは、先週の中国の診療ガイドラインでは、そのアビガンが採用されたということがある。しかも、今、いろいろな薬が世界中で治験が非常に早急に進んでいるので、治療の確率というか、治療の方法というのが見えてくるのではないかと思っています。

ですから、これから、高齢者については非常に危険だと思うのですけれども、いい方向に光が見えてくるのではないかというふうにも考えていますので、ただ、むやみに恐れる必要はないというのが、私の意見です。

以上です。ありがとうございます。

○区長 ほかに、いかがでしょうか。

○委員 ご説明、ありがとうございます。昨日の都知事の会見を受けて、人口の多さも、東京は日本一ですし、感染経路が追えないというところもあって、おそらく、これから感染が拡大していくだろうと、状況の険しきや厳しきも聞きながら、思っておりました。なので、このように、4月30日までと先手を打って、対策をしていただいて、非常にありがたいと思います。今後もどうぞ、よろしく願いいたします。

私からは、2点です。

学校休業日が始まってすぐですけれども、近くの児童館を見にいってきました。子どもたちは、落ち着いて勉強していました。何か心配なこととかありますかと、そこの職員の方に聞いたら、今はまだあるけれども、消毒液とかマスクがちょっと心配だというお声があったので、その辺り、どうかということが1点です。

もう1点は、学校の校庭の開放についてです。学校長とも、電話でお話ししたときに、保育園だけではなくて、生徒たちも児童たちも居場所がないから開放してもらとうれしいという意見もあったので、そこを汲んでか分からないですけれども、小学生も来ていいよという時間差でシェアしながらやっていただいたことは非常にありがたいのですが、その対応を何かあったときとか教職員が、おそらくしていると思います。

それは最初のところではなかったことなので、教職員の皆さんがどのように対応して、何か声があったかというところを、教育委員会管轄だと思いますが、その辺りのことを、教えていただきたい。

以上、2点です。

○区長 マスク等の件と、居場所と学校との関係の2点についてお願いします。

○説明者 それでは、私のほうから、マスクと消毒液の関係です。

もともと危機管理室におきましては、新型インフルエンザ対策のために、区としてマスクは10万枚と消毒液もストックがございました。そのうち、約9万枚を、各部局単位に、配付しているところがございます。今使い切っているのが9万枚ということではなくて、危機管理室から各部局に送って、順次、それを使用しているという状況でございます。

それで、残り1万枚では不足ということになるのですけれども、

現在、東京都におきましても、順次、例えば、福祉施設ですとか、スポットを絞って、順次、マスクをそれぞれ配付している動きが出ておりますので、今のところ、区として逼迫しているという状況ではございません。

あと、消毒液につきましては、あと800本程度ですが、在庫があるということですので、今現在、逼迫という状況ではないということでございます。

部局の中で、今、順繰りにやりくりをして、使用しているという、そういう状況でございます。

○説明者

2点目の、校庭の開放に伴う教職員の対応という件につきましてですけれども、休業期間中においても、教職員は様々な業務がありますので、非常に、そういった点ではなかなか対応が難しいという声もありますが、国の要請で、学童保育クラブ等を支援をしていくということもありますので、そのことについては、事前に校長会のほうにはお伝えをしております。

実際、学校のほうでは、教職員が対応しているケースもありますけれども、学校では様々な支援の方がいらっしやいまして、先日、中目黒小学校を見てきましたら、支援の方で対応していただけているということもありましたので、そういった形で、学校で工夫して、教職員の負担も考えながらやっているというところがございます。

以上でございます。

○区長

よろしいですか。

○委員

意外に長期戦になっていて、皆さん大変だと思いますけれども、引き続き、頑張ってくださいと思います。

2つ、ご質問させていただきたいと思うのですが、1つは、前回の総合教育会議でも、ちょっと不安に思ったことなんですが、いきなり休校になったということで、お子さんが、家庭ですとか、居場所のほうは工夫されているとは思いますが、お子さんの状況について、学校のほうで、どの程度把握されているか、例えば事故等起こっていないかといった点は、現状どうなのかということが心配なので、教えていただければと思います。

2つ目は、学校が急に終わってしまったので、残った課題もあって、先ほど、学力テストも延期になるというお話がありましたけれども、4月以降、学校が再開されればそこで、ということなのでしょうけれども、学年末に積み残した学科の課題とか、そう

いったことの対応についてはどのように考えていらっしゃるかという点、現状の計画で結構なので、教えていただければと思います。

よろしく申し上げます。

○説明者

まず、休校に伴っての家庭での子どもの状況の把握について、学校長に依頼の通知をしました。

全校で、様々な形で行っていますけれども、例えば、電話連絡だったり、見守りメールを使用した学校もあります。そういった形で、家庭の状況については、各学校で把握しているところがございます。

また、希望者には、個人面談もできるということで、ホームページでもアナウンスしておりますので、そういった必要がある場合は、各学校で個別の面談を行っているという状況でございます。

また、未履修の内容への対応ですけれども、こちらのほうについては、3月分、未履修があった場合については、それぞれの学校の中で、学年間の引き継ぎをきちんとした上で、次年度の年度当初に、その内容の授業を行うということで、指導をしております。

併せて、今まで、中学生と不登校児童を対象に、家庭でも取り組めるeラーニングをやっていたんですが、小学校にもこの春休みから利用できるようにいたしましたので、春休み中も、そのeラーニングで学べる、そういった体制をとっているところがございます。

以上でございます。

○区長

よろしいですか。

○委員

それでは、私は全般的なことといたしますか、この間、対応について気がついた点のお話をさせていただきたいと思います。質問というよりは、これからいろいろ検討されるということで、要望という形でお話ししたいと思います。

1つは、私が住んでおります周辺にも、高齢者が非常に多いということで、昨日も6時ごろに近くのスーパーに買い物に行きましたら、相変わらず、やはり高齢者の方、特に歩行もちょっとままならないというような方が、杖をつきながら買い物に来ている。周辺に、誰か助ける人がいるかなと見渡してみても、一人で歩いておられる。なかなかそういった、地域全体で、そういう高齢者を見守るというような活動が、十分できてないかなという実感を

いたしました。

そういったところで、特に、テレビなど見てますと、「4その他」のところに出ております、国や東京都による新たな対応ということで、実際、昨日も、小池都知事からこういった対応のことがテレビで発表されて、それでは、我々の周辺にはどういう形で来るのかというのが、十分理解できなかつたというようなことがございます。

そういう意味でも、今後、ますます、かなりのレベルまで危険な状態が続くということになりますと、こういった新たな対応が出たときの、私たち自身の動き方、この辺も非常に不安を覚えるところであります。

そういった面でも、要望になります、この新たな対応が、マスコミ等で公表されたときに、教育委員会の委員として、周辺の区民の方々にもある程度顔も知られているというような状況でございますので、外でそういった方々にお会いしたとき、特に、高齢者の方とお会いしたときに、実は、テレビで言っていることはこういうことですよというようなお話を、できればしたいと、頭の中では思っています。しかし、情報が無いために、そういった会話もできないということがありますので、ぜひとも、新たな対応が出てきたときに、特に、教育に関するような情報で重要なことがありましたら、もう遠慮なく、私どもの家庭のほうに連絡いただきたいと思います。私が出ている場合には、家族に伝えるとか、そういうような形でも、とにかく、早く情報を頂きたいというのが、私の第一の要望であります。

勝手な話ですけれども、ぜひとも、ご対応いただければありがたいと思います。

○区長

今、委員のご発言で、武漢が都市閉鎖をされて、私もテレビを見ていました。ある意味で、海の向こうのような感じがしていたんですけども、昨日の知事の発言からすると、本当に都市閉鎖というのは、決して海の向こうの話ではなくて、もう目の前に出てきたということで、率直に申し上げて、どういうイメージなのか、なかなか、私どもも分からないので、今後、当然、そういった情報も東京都から来るかと思えます。

当然、区政全般に、目黒区だけでなく、都内全般に関わる問題ですので、福祉、教育、様々な分野に影響が出てきますので、整理して、そのときはまた、総合教育会議を開催するというよう

なことにも、当然、なろうかと思imasので、情報の共有はしっかりやっていく準備は、これからしていきたいと思imasので、よろしくお願いたしたいと思imas。

教育長のほうから。

○教育長 私からは、質問ではなくて、学校の直近の状況について、お話しさせていただきます。

ご案内のとおり、先週の水曜日、幼稚園・こども園で修了式がありました。木曜日には中学校で卒業式がありました。

いずれも、時間的、空間的に非常に制約がある中でしたけれども、各校、各園、非常に工夫を凝らして、いい式ができたという報告を受けています。

そして、今日、小学校22校で卒業式が、これから行われるところで、いい式ができることと思imas。

昨日、今後の対応について、ということで、臨時の校長会を開きました。その中で、私のほうから挨拶をしたんですけれども、3つのことを伝えました。

1つは、2月27日夕刻の、一斉休校の要請があつて以来、ここまで、当初からの想定にほぼ沿った形で、落ち着いた対応ができていて、ということを確認しました。

2点目として、今後、国や都からの通知が出そろったところで、新学期の再開、それを判断していくわけですがけれども、再開した暁には、いわゆる、密閉空間、密集場所、密接場面を避けるという、このことをきちっと念頭に置きながら、うがい・手洗いを、これからより厳格にやりながら、日常生活、日常の学校生活を取り戻していきましょう。そういうお話をしました。

3点目として、今後、長期戦になるお話がありますので、今後、いろいろ意思決定に当たっては、教育委員会事務局の案を、まず、学校長、校長会長のほうに諮った上で、その内容について、校長会の中で、きちんと共通認識を持ちながら、丁寧に進めていきましょうと。

この3点をお話ししたところです。

今後も、区長部局との連携というのは、ますます大事になっていきますので、こういった総合教育会議の場なども大切にしながら進めていきたいと思imasので、よろしくお願いたします。

以上です。

○区長 ありがとうございます。

今、落ち着いた対応というお話があったんですが、私のところに、毎日、区民の声により、区内外の方から、いろいろなご意見が寄せられています。

当初、学校の一斉休校のときは、やはり、居場所についてということで、若干、ご意見は散見されてましたけれども、ここ1週間ぐらいは、ほとんどそういった声はないという感じですが、今までいろいろな事案が目黒で起きたのですけれども、そういったことに比べても、格段に少ないという感じなので、そういう点では、それぞれ、ご自宅等でも対応ができていて、適切な情報発信も、今のところできていて、大きく、何か区内が揺れ動いているという感じではないのではないかと、皮膚感覚なんです、そんな感じがしています。今後長期になると、また、当然変わってきますが、今日現在までの感じとして、そんな感じがしています。

いかがでしょうか。一巡しましたが、よろしいでしょうか。

それでは、最後に私からも若干発言をさせていただきたいと思っております。

今日は、春休みと、それから年度初めの入学式とか始業式についての内容について、ご報告を申し上げました。

今後の最大の課題は、学校の再開をどうするのか、再開すべきなのかどうかということになろうかと思っております。

今、事務局から聞くと今日辺り、再開前提というふうに言われているんですが、その前提として、再開した場合の留意点の指針が示されるということで、最終的に閉めるときは国の一斉で、再開は、各自治体でやりなさいという、いろいろ思いはあるんですが、そういうことの指針が出るというように聞いています。また、東京都からも26日付で、やはり、予防措置の指針が出るというふうには、私どもも承知をしておりますので、こういった指針を踏まえて、今、ここで再開するとか、しないということを決める時期ではないんですが、もし再開がされるようならば、今、お話をされたような予防措置も、しっかり取る必要があろうかと思っております。

いずれにしても、区長として、また、本部長として、区民の皆さん、特に、お子さんたちの健康が、学校の中でしっかりと保たれるということが必要ですので、そういう点を踏まえて、教育委員会におかれては、適時、適切な判断をお願いし、これは当然、全庁的にバックアップするのは、これは言うまでもありませんの

で、どうぞ、よろしく願いいたします。

それでは、この議題については、これで終わらせていただき、会議を閉じさせていただきますけれども、今、お話があったように、都市閉鎖なんていう話も出ており、流動的な状況でありますので、また改めて、臨時的に、緊急に会議を招集することがあるかと思いますが、そのときはまたよろしく願いします。

今日は、どうも、ありがとうございました。

(午前9時58分閉会)